JASDAQ

# 平成24年１月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月5日

上場会社名　株式会社アマガサ　上場取引所　大
コード番号　3070　ＵＲＬ　http://www.amagasa-co.com/
代表者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　天笠　竜蔵
問合せ先責任者　(役職名)　経営企画室長　(氏名)　西山　泰敬　(TEL)03-3871-0111
四半期報告書提出予定日　平成23年9月12日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年1月期第2四半期の連結業績（平成23年2月1日～平成23年7月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年1月期第2四半期 | 2,852 | △11.0 | 104 | △42.9 | 99 | △44.2 | 48 | △53.4 |
| 23年1月期第2四半期 | 3,206 | － | 182 | － | 178 | － | 103 | － |

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年1月期第2四半期 | 5,325.63 | － |
| 23年1月期第2四半期 | 11,430.69 | － |

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年1月期第2四半期 | 6,023 | 1,465 | 24.3 | 162,522.34 |
| 23年1月期 | 5,672 | 1,445 | 25.5 | 160,290.66 |

(参考)自己資本　24年1月期第2四半期　1,465百万円　23年1月期　1,445百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年1月期 | － | 0.00 | － | 3,200.00 | 3,200.00 |
| 24年1月期 | － | 0.00 | | | |
| 24年1月期(予想) | | | － | 3,200.00 | 3,200.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

３．平成24年1月期の連結業績予想（平成23年2月1日～平成24年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,660 | △8.7 | 156 | △58.9 | 135 | △62.8 | 67 | △62.5 | 7,527.89 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.３「２．その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　無

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　有

②　①以外の変更　　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年1月期2Q | 9,600株 | 23年1月期 | 9,600株 |
| ②　期末自己株式数 | 24年1月期2Q | 584株 | 23年1月期 | 584株 |
| ③　期中平均株式数(四半期累計) | 24年1月期2Q | 9,016株 | 23年1月期2Q | 9,016株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（第２四半期連結累計期間） …… 7
（第２四半期連結会計期間） …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

## １．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、６月の有効求人倍率が３ヵ月ぶりに改善し0.63倍になる一方、完全失業率が再び上昇に転じ4.6％となるなど、依然として予断を許さない雇用情勢が続きました。また、倒産件数に占める不況型倒産の割合が11ヵ月ぶりに85％を超えるなど依然として厳しい事業環境となりました。

当社が属する婦人靴業界におきましては、安売り競争の激化等による商品販売価格の下落傾向が見られました。

こうした環境のもと、当第２四半期連結累計期間において当社は、自社企画力を生かした商品開発と直輸入比率の向上による原価率の低減に努めました。しかしながら３月11日に発生した東日本大震災及びその後の計画停電の影響により、繁忙期において販売機会を逸したことなどから、販売は前年同期を下回りました。

小売事業においては、前期において不採算店を閉鎖したことにより販管費が軽減されたことに加え、粗利益率が改善したことから、営業利益は上場来最高となりました。また、JELLY BEANS名古屋パルコ店、ラフォーレ原宿新潟店及び岡山ＯＰＡ店を閉鎖する一方、JELLY BEANS金沢百番街Rinto店に出店致しました。これにより、７月31日現在の直営店舗数は17店舗となりました。

卸売事業においては、海外顧客向け販売及び自社ＷＥＢ通販を除く販売チャネルにおいて、売上が前年を下回りました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間につきましては、売上高2,852百万円(前年同期比11.0％減)、営業利益104百万円(同42.9％減)、経常利益99百万円(同44.2％減)、四半期純利益48百万円(同53.4％減)となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,460百万円（前連結会計年度末は2,116百万円）となり、343百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加（836百万円から1,086百万円へ250百万円増）、現金及び預金の増加（1,108百万円から1,201百万円へ92百万円増）であります。

また、固定資産の残高は、3,563百万円（前連結会計年度末は3,555百万円）となり、７百万円増加しました。主な理由は、固定資産の取得による増加（103百万円増）、減価償却による減少（85百万円減）、及び差入保証金の減少（７百万円減）であります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,929百万円（前連結会計年度末は1,683百万円）となり、245百万円増加しました。主な理由は、仕入債務の増加（479百万円から783百万円へ304百万円増）、１年内返済予定の長期借入金の増加（869百万円から880百万円へ11百万円増）、及び未払法人税等の減少（131百万円から48百万円へ83百万円減）であります。

また、固定負債の残高は、2,628百万円（前連結会計年度末は2,543百万円）となり、84百万円増加しました。主な理由は、運転資金の調達による長期借入金の増加（2,154百万円から2,236百万円へ82百万円増）であります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,465百万円（前連結会計年度末は1,445百万円）となり、20百万円増加しました。主な理由は、四半期純利益の計上48百万円による増加、配当金の支払い28百万円による減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて188百万円増加し、900百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、133百万円（前年同期は71百万円の収入）となりました。

これは主に、仕入債務の増加額304百万円、税金等調整前四半期純利益88百万円及び減価償却費85百万円に対し、売上債権の増加額249百万円、法人税等の支払額121百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は、19百万円（前年同期は48百万円の収入）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入200百万円、差入保証金の回収による収入８百万円に対し、定期預金の預入による支出103百万円、有形固定資産の取得による支出73百万円及び差入保証金の差入による支出８百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は、34百万円（前年同期は18百万円の収入）となりました。

これは、長期借入れによる収入600百万円に対し、長期借入金の返済による支出506百万円、リース債務の返済による支出30百万円及び配当金の支払額28百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想の詳細につきましては、平成23年８月26日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

１．簡便な会計処理について

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第２四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

２．四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理について

①税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ2,177千円、税金等調整前四半期純利益は9,844千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は740千円、差入保証金の変動額は7,420千円であります。

②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第２四半期連結累計期間及び当第２四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 当第２四半期連結会計期間末<br>（平成23年７月31日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成23年１月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,201,201 | 1,108,781 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,086,783 | 836,449 |
| 商品及び製品 | 149,591 | 145,811 |
| その他 | 34,257 | 34,933 |
| 貸倒引当金 | △11,800 | △9,000 |
| 流動資産合計 | 2,460,033 | 2,116,975 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,562,044 | 1,594,543 |
| 土地 | 1,529,346 | 1,529,346 |
| その他（純額） | 204,179 | 153,685 |
| 有形固定資産合計 | 3,295,570 | 3,277,576 |
| 無形固定資産 | 62,918 | 64,997 |
| 投資その他の資産 | 204,531 | 213,064 |
| 固定資産合計 | 3,563,020 | 3,555,638 |
| 資産合計 | 6,023,054 | 5,672,614 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 783,766 | 479,328 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 880,861 | 869,592 |
| 未払法人税等 | 48,885 | 131,991 |
| 返品調整引当金 | 8,000 | 5,900 |
| その他 | 207,952 | 196,956 |
| 流動負債合計 | 1,929,466 | 1,683,767 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,236,931 | 2,154,357 |
| 退職給付引当金 | 106,022 | 105,015 |
| 役員退職慰労引当金 | 165,999 | 161,325 |
| その他 | 119,333 | 122,967 |
| 固定負債合計 | 2,628,286 | 2,543,665 |
| 負債合計 | 4,557,752 | 4,227,433 |

（単位：千円）

| | 当第２四半期連結会計期間末<br>（平成23年７月31日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成23年１月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 308,100 | 308,100 |
| 資本剰余金 | 230,600 | 230,600 |
| 利益剰余金 | 1,076,641 | 1,057,476 |
| 自己株式 | △146,116 | △146,116 |
| 株主資本合計 | 1,469,224 | 1,450,060 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △266 | △661 |
| 為替換算調整勘定 | △3,656 | △4,217 |
| 評価・換算差額等合計 | △3,923 | △4,879 |
| 純資産合計 | 1,465,301 | 1,445,180 |
| 負債純資産合計 | 6,023,054 | 5,672,614 |

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年２月１日<br>至　平成22年７月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年２月１日<br>至　平成23年７月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 3,206,880 | 2,852,671 |
| 売上原価 | 2,064,939 | 1,830,062 |
| 売上総利益 | 1,141,940 | 1,022,608 |
| 販売費及び一般管理費 | 959,314 | 918,403 |
| 営業利益 | 182,626 | 104,205 |
| 営業外収益 | | |
| 仕入割引 | 24,554 | 20,340 |
| その他 | 9,589 | 8,061 |
| 営業外収益合計 | 34,143 | 28,401 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30,364 | 27,985 |
| その他 | 8,403 | 5,217 |
| 営業外費用合計 | 38,768 | 33,203 |
| 経常利益 | 178,001 | 99,402 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | － | 417 |
| 特別利益合計 | － | 417 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | － | 3,735 |
| 固定資産除却損 | 701 | 179 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | － | 7,667 |
| 特別損失合計 | 701 | 11,582 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 177,300 | 88,237 |
| 法人税等 | 74,241 | 40,221 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | － | 48,015 |
| 四半期純利益 | 103,059 | 48,015 |

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結会計期間<br>（自　平成22年５月１日<br>至　平成22年７月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（自　平成23年５月１日<br>至　平成23年７月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 1,461,847 | 1,403,890 |
| 売上原価 | 922,318 | 874,268 |
| 売上総利益 | 539,528 | 529,621 |
| 販売費及び一般管理費 | 485,470 | 464,844 |
| 営業利益 | 54,058 | 64,776 |
| 営業外収益 | | |
| 仕入割引 | 11,045 | 10,006 |
| その他 | 3,636 | 3,866 |
| 営業外収益合計 | 14,682 | 13,872 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,925 | 14,346 |
| その他 | 6,413 | 3,844 |
| 営業外費用合計 | 21,339 | 18,190 |
| 経常利益 | 47,401 | 60,458 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | － | 2 |
| 特別利益合計 | － | 2 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | － | 3,735 |
| 固定資産除却損 | 701 | － |
| その他 | － | 223 |
| 特別損失合計 | 701 | 3,959 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 46,699 | 56,501 |
| 法人税等 | 19,162 | 26,819 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | － | 29,682 |
| 四半期純利益 | 27,537 | 29,682 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年２月１日<br>至　平成22年７月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年２月１日<br>至　平成23年７月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 177,300 | 88,237 |
| 減価償却費 | 89,618 | 85,651 |
| 減損損失 | － | 3,735 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 3,256 | 1,006 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 3,000 | 4,674 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 259 | 1,582 |
| 返品調整引当金の増減額（△は減少） | △300 | 2,100 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,473 | △1,529 |
| 支払利息 | 30,364 | 27,985 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | － | 7,667 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △150,670 | △249,896 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 28,092 | △3,779 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △3,871 | 304,438 |
| その他 | 11,977 | 9,942 |
| 小計 | 187,553 | 281,816 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,473 | 1,529 |
| 利息の支払額 | △30,714 | △28,222 |
| 法人税等の支払額 | △87,211 | △121,515 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 71,101 | 133,608 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △30,264 | △103,850 |
| 定期預金の払戻による収入 | 90,000 | 200,040 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,489 | △1,216 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,456 | △73,809 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △395 | － |
| 差入保証金の回収による収入 | 14,667 | 8,181 |
| 差入保証金の差入による支出 | △10,000 | △8,133 |
| その他 | △2,719 | △1,521 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 48,341 | 19,690 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 550,000 | 600,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △471,215 | △506,157 |
| 配当金の支払額 | △28,531 | △28,765 |
| リース債務の返済による支出 | △32,062 | △30,218 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 18,191 | 34,859 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △766 | 50 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 136,868 | 188,209 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 892,085 | 712,051 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,028,954 | 900,260 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。